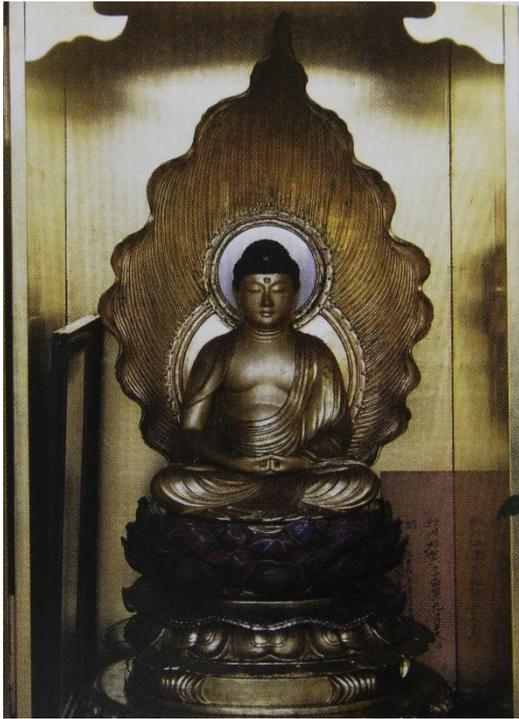


あみだによらいそう
阿弥陀如来像

瑞穂町指定有形文化財

所在地：瑞穂町石畑 1708 番地 阿弥陀堂内



石畑の阿弥陀堂内に安置されている江戸時代中期に制作された仏像で、台座の内側には「■町十三丁目大仏師吉見兵部作」の墨書銘があります。高さは28.4cm、膝張22.5cm。寄木造金泥塗で、大衣の一部が右肩にかかっています。玉眼で、額の白毫には水晶がはめ込まれており、螺髪彫出、弥陀定印が認められます。台座、光背とも像と同時の作と考えら

れます。経年劣化により、台座と光背の一部が欠損していたため、昭和61年（1986）に復元修理がなされ、今日に至っています。